

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年1月14日

事業所名 児童発達支援センター ココカラりんく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0		
	2	職員の配置数は適切である	10	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	施設内は毎朝、濃厚接触部位の消毒、閉所には施設内全体の消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	6		PDCAサイクルの勉強会を実施する。 フォーマットを作成し、業務改善点がある場合はPDCAサイクルシートに記録するように努める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	-	-		令和2年4月より開所しているため、令和2年度の評価を基に業務改善を行う。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	-	-		令和2年4月より開所しているため、令和2年度の評価を基に業務改善を行う。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	-	-		令和2年4月より開所しているため、令和2年度の評価を基に業務改善を行う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	7		年間プログラムを作成し、勉強会を実施していく。 パートタイムや研修時間の確保のためにオンラインの勉強会を実施する。